

第1回 気候変動問題再考 研究会

不確実な未来について どう考えるか？

～原子力・核燃料サイクルを事例に～

2026年5月21日

キヤノングローバル戦略研究所 渡辺凜



原子力・核燃料サイクル利用 をめぐる不確実性

2

- リスク評価においてどのように~~低頻度高影響~~の外部事象を考えるか
- 10年後、脱炭素政策はどうなっているか？
- 非エネルギー利用の動向は？
- 欧米中心の国際機関の権威や秩序はどうなるか？
- 核戦争の可能性は？
- 発電技術にブレークスルーが起こりうるか？
- 日本の地方経済はどうなる？

“Uncertainty landscape”

本日の流れ

- 自己紹介
- ブレーンストーミング：Uncertainty Landscapeを考える
 - 問い①
 - 問い②
- ディスカッション：日本の原子力利用の戦略をどう考えるか
- 振り返り

問い① 何が原子力利用に影響を与えうるか

- 2050年までの日本において
 - 何が原子力の社会的価値を変えうるか？
 - どれほど価値があっても、「これでは流石に使えない…」となる要因は？
 - 原子力関連の技術開発の動向：
 - 高速増殖炉、小型炉、モジュラー製造、海水ウラン、トリウム、分離・変換、核融合…

問い②特に影響の大きい要因は？

- 2050年を見据えて、原子力利用の計画（研究開発、投資）を立てようとする立場から考えたとき、
- ①で挙げた要因の中で、特に計画にひびきそうだと思う要因は？
- その要因がどうなるかを予測することは、どれくらい難しそうか

ディスカッション

- ブレインストーミングの結果を踏まえて、
- 日本の2050年までの原子力利用計画に、ぜひ考慮すべき要因は？
- その要因は、どう向き合うのが良いと考えられるか？
 - 特に、予測のしやすさ、原子力利用計画への影響の大きさを考慮して

振り返り

- ブレインストーミングとディスカッションを経て、不確実性への向き合い方についてどう感じたか？
- 特に、今後どのような研究が必要だと思うか

ブレインストーミングを始める前に

- 本日のWSの目的：
不確実性に対する様々な向き合い方に思いを馳せてもらうこと
- 原子力利用計画は大事ですが、本日はあくまで考えるためのダシです！
- 突拍子もないことを言う場ではありませんが、
他の参加者の予想に違和感を覚えても、胸に秘めておいてください
- どうしても煮詰まった時のために参考資料があります
 - 見たい人は自由に見てください
- 本日のWSのレポートを作成、公開します
 - 参加者の氏名や所属は載せません
 - 録画されていますが、記録作成のためだけに使います
 - 公開前に参加者に回覧します